

専門研究 B

**小・中学校に在籍する肢体不自由児の
指導のための特別支援学校の
センター的機能の活用に関する研究**

—小・中学校側の二一ズを踏まえて—

平成 26 年度～ 27 年度

研究成果報告書

平成28年3月



独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所

目 次

I	研究の背景	1
II	目的及び意義等	2
1	研究期間内に明らかにすること	2
2	本研究の教育現場におけるニーズ、緊急度及び意義	2
3	当該研究分野における国内外の研究動向等を踏まえた、 本研究の独創性及び特色	2
4	国の政策における本研究の意義	3
III	研究の方法	3
1	研究方法の概要	3
2	倫理的配慮	3
IV	研究活動の経過	3
1	主な研究活動	3
2	本報告書の構成	4
3	研究成果の公表状況	4
V	各研究内容	6
1	特別支援学校のセンター的機能を推進する上での要件や 課題等に関する文献的検討	6
2	研究協力機関である特別支援学校(肢体不自由)での センター的機能に関する調査	13
3	肢体不自由特別支援学級を対象とした悉皆調査概要	19
4	諸外国における特別支援学校のセンター的機能に関連した取組の検討	36
VI	事例報告	39
1	事例報告の概要	39
2	福島県における取組－学校全体での支援体制のもとでの センター的機能を活用した中学校での取り組み－	40
3	千葉県における取組－通級による指導を活用した取組－	46

4	横須賀市における取組－前籍校である特別支援学校の継続的な 支援を活用した、同一設置者間での取組－	52
5	愛知県における取組－地域の「肢体不自由教育勉強会」を活用した、 体育科を中心とした授業改善を図る取組－	58
6	高知県における取組－幼少期からの継続的な支援を活用した取組－	64
7	福岡市における取組－ICTに関する専門性を活用した、 同一設置者間での取組－	70
8	長崎県における取組 －特別支援学級設置準備や校内体制作りへの活用の取組－	76
VII 総合考察		
1	各下位研究の概括	82
2	小・中学校側の活用の在り方と特別支援学校側の支援の在り方	89
3	今後に向けて	93
VIII 研究体制		
資料1	肢体不自由特別支援学級を対象とした悉皆調査 調査内容の概要	96
資料2	肢体不自由特別支援学級を対象とした悉皆調査 補助資料	102
資料3	平成27年度日本特殊教育学会ポスター発表レジュメ	104
資料4	平成27年度日本特別教育ニーズ学会発表レジュメ	105
資料5	寄稿 福島県内の小・中学校に在籍する肢体不自由児の 学習状況等に関する調査結果の概要	107
資料6	福島県養護教育センター第一次調査 調査内容の概要	124
資料7	福島県養護教育センター第二次調査 調査内容の概要	126
資料8	寄稿 特別支援学校（肢体不自由）による 通級による取組に関する今後の展望	129
謝辞		